

くろまつない!



社協だより

2023年5月

104

～広げよう支えあい! つなごう地域の力!～

「災害支援 茂尾実基金」創設

3月27日、災害支援基金を創設するにあたり、茂尾公晴様より当会の津田会長へ寄付金の贈呈が行われました。

この基金創設の経緯については、故茂尾実様の奥様より、生前ご本人が力を注いでいたライオンズ活動の思いを継承したい旨のお話がライオンズクラブへありました。

ご家族とライオンズクラブ小谷会長との相談の結果、ライオンズクラブと「災害ボランティア支援協定」を締結している当会に「災害支援 茂尾実基金」を創設することとなりました。

今後この基金は、災害等の発生により支援が必要になった場合に活用させていただきます。



「勝手に見守りたい」にメッセージをいただきました!

この度、勝手に見守りたいの方たちへ黒松内小学校と白井川小学校の児童からメッセージを頂きました。メッセージには「いつもありがとうございます」「体に気を付けてこれからもよろしくお願いします」など、活動を応援してくれる温かい気持ちが込められていました。お返しに小学校へ勝手に見守りたいのポスターを贈りました。

※勝手に見守りたいとは…

外出する際に腕章をつけていただき、子どもたちやお互いを勝手に見守る活動をしていく方たちです。地域のゆるやかな見守り・つながりづくりに貢献頂いています。

活動に参加希望の方は黒松内町ボランティアセンター（社協：72・3124）までご連絡下さい。



この広報は赤い羽根共同募金の配分金で作成しています。

令和5年度 事業計画について

従前からの取り組みに加え、住民参加の多様な福祉サービスを行うとともに、さまざまなボランティア活動、小地域ネットワーク活動、ふれあい・いきいきサロン等の地域での住民の主体的活動を支援し、誰もが支え合いながら安心して生活できる「ともに生きる豊かな地域社会」を目指し事業を進めて参ります。

在宅サービス部門

1. 在宅生活支援

- ・移送サービスの実施
自力での通院及び家族による送迎が困難な高齢者等の通院支援を行う。
- ・安否確認事業
- ・除雪ボランティア、委託除雪事業の実施
- ・緊急通報システム設置事業

2. 経済的な生活支援

- ・関係機関との連絡調整強化
- ・低所得者支援事業
(生活福祉資金の貸付、社協独自資金の貸付)

法人経営部門

1. 法人運営のために会務の開催

- ・理事会、評議員会、監事監査

2. 役員研修会の実施

3. 会員加入促進

4. 社協だよりの発行

5. ホームページの運営

福祉サービス利用支援部門

1. 介護予防ケアマネジメント業務

- ・介護予防ケアマネジメントの作成
- ・介護予防サービス担当者会議の開催
- ・介護予防普及啓発事業
介護予防の普及啓発に資するパンフレット等の作成、講演会や介護予防教室等を開催します。

2. 総合相談支援・権利擁護

身近な相談窓口として、問題の把握に努め、適切なサービス・機関に繋げるとともに、専門的・継続的な支援を行います。

3. 権利擁護業務

- ・高齢者虐待の早期発見、対応、予防
- ・消費者被害の予防

4. 包括的・継続的ケアマネジメント業務

- ・介護支援専門員意見交換会
- ・地域ケア会議の開催
- ・医療カンファレンスへの出席

5. その他（町と連携）

- ・認知症サポーター養成事業の開催
- ・ひとり歩き高齢者等事前登録の実施

地域福祉推進部門

1. 第6期地域福祉実践計画の推進

2. 小地域ミニふれあい事業への助成・支援

3. 住民主体のサロン等の推進・支援

4. ボランティア活動の普及、推進

- ・ボランティアセンター機能の充実
- ・地域生活課題や住民ニーズの把握
- ・くらしのサポーター（有償ボランティア）事業の運営
- ・ボランティア運送事業の運営
- ・保育園送迎ボランティア
- ・認知症サポーター養成講座開催
- ・災害ボランティアセンター設置運営マニュアル等の支援体制づくりの推進

5. ふれあいのまちづくり事業の推進

6. 黒松内町社会福祉大会の開催

- ・福祉大会実行委員会の組織と運営

7. 当事者団体への協力

老人クラブ連合会、身体障害者福祉協会、子ども会育成連合会、サークル小鳥のうた、黒松内手話会の事務局の運営・協力

8. 黒松内町社会募金委員会の組織運営

生活サポートセンター部門

1. 成年後見に関する相談及び利用支援並びに
成年後見人等の受任
 - ・相談、利用支援
 - ・成年後見人等の受任
2. 成年後見制度の普及啓発
3. 市民後見人の養成及び研修
 - ・関係機関が実施する研修会への参加
4. 生活困窮に関する相談及び関係機関との連携
 - ・支援対象者からの制度に関する相談及び調整、関係機関などへのあっせん
5. 成年後見制度等に関する関係機関との連携
 - ・所轄の家庭裁判所及び法テラスなど
6. 日常生活自立支援事業の実施と支援
7. 重層的支援体制整備事業移行準備事業

生活支援体制整備事業部門

1. 生活支援コーディネーター
 - ・地域、住民ニーズ及び地域資源の把握
 - ・生活支援、介護予防サービスの資源開発
 - ・多様な関係主体間の定期的な情報共有及び連携、協働による取組の推進
 - ・地域ニーズとサービスのマッチング
2. 協議体
 - ・コーディネーターの組織的な補完
 - ・地域ニーズの把握
 - ・企画、立案及び方針の協議
 - ・地域づくりにおける意識の統一
 - ・資源開発
 - ・情報交換
 - ・情報共有及び連携強化

令和5年度 収支予算について

社会福祉協議会では、「住み慣れた黒松内で、生き活きと家族や友人と暮らしたい」という町民一人ひとりの願いや想いに応える活動を積み重ねながら、会費や寄附金等の民間財源、行政からの補助金や委託料等の公的財源、事業収入（介護報酬）といった貴重な財源をもとに「福祉のまちづくり」に積極的に取り組んでまいります。

【収入】

（単位：千円）

項目	金額	主な内容
会 費	1, 480	個人会費・施設 団体会費
寄附金	1, 000	一般寄附金
補助金	2, 985	町補助金・共同 募金配分金等
受託金	34, 953	受託事業収入
介護保険収入	3, 618	要支援ケアプ ラン作成費等
その他の収入	177	受取配当金収 入・雑収入
計	44, 213	

【支出】

（単位：千円）

項目	金額	主な内容
人件費	28, 778	職員給料他
事務費	2, 188	事務的経費
事業費	10, 933	各種事業開 催・運営費
その他の支出	308	負担金支出
計	42, 207	
事業活動収支差額	2, 006	
施設整備等収支差額	0	
財務活動収支差額	△1, 570	
予備費	200	
当期資金収支差額合計	236	
前期末支払資金残高	12, 854	
当期末支払資金残高	13, 090	

退職のご挨拶



川上 さくら

私事ではありますが、
一身上の都合により3
月31日をもって退職す
ることになりました。

至らぬ私ではござい
ましたが、地域の皆様を
はじめ、職場、各関係機
関の皆様の温かい励ま
しのお言葉に支えられ
て今日まで勤めること
が出来ました。

ここでの経験を糧に
新たな人生を歩んでい
きたいと思っております。

末筆ながら皆様のご
健康とご多幸を心より
お祈り申し上げます。

日赤黒松内分區から お知らせ

昨年度、皆様からお寄
せいただいた社資（募金）
の合計は529,500円
となりました。ご協力あり
がとうございます。

なお、この社資は、日本
赤十字社を通じて災害に
備えた救護車両や資器材
の整備、天災等で被害を受
けた人たちへの毛布・食
糧・日用品などの救護物資
の購入資金など、人道的活
動に使われます。

また、5月1日から5月
31日までの一カ月間、赤
十字運動月間として全国
一斉に募金活動を実施し
ておりますので、ご協力を
宜しくお願いします。



あたたかいご寄附ありがとうございます

【令和5年2月～3月】（順不同）

地域福祉推進にと

- ・津田利幸様
- ・三坂司様
- ・佐々木輝夫様
- ・片桐澄子様
- ・安田研二様
- ・増山明様
- ・茂尾喜美子様
- ・株式会社 光銭商店

香典返しとして

- ・吉田幸夫様
- ・三上明様
- ・加藤浩一様
- ・田井ひで様
- ・佐々木卓様
- ・熊坂由美様
- ・今田裕治様
- ・工藤テル様
- ・安田研二様

物品寄附

- ・綿路智様
- ・齊藤しをり様

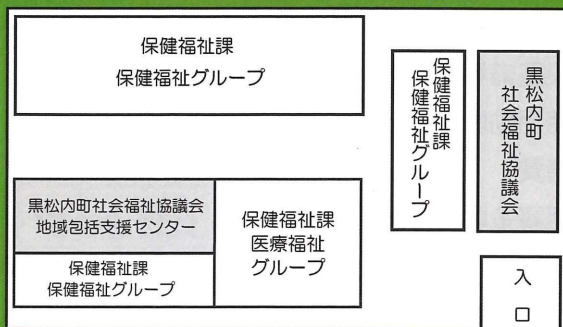


上のQRコードをスマ
ートフォン等で読み取る
と、黒松内町社協のホーム
ページをご覧頂けます。

編集後記

今月、新型コロナウイルス感
染症が季節性インフルエンザ
等と同様の分類の五類に見直
されます。
マスクの着用についても緩
和されましたが、分類が変わ
ることによって混乱や負担が生
じなければいいのですが…。

【保健福祉センター 1階】



■悩みごと・困りごとはありませんか？

日常生活の困りごと等お気軽にご相談ください。

社会福祉法人 黒松内町社会福祉協議会

寿都郡黒松内町字黒松内 586-1

黒松内町保健福祉センター内

電話：(0136) 72-3124 FAX：(0136) 72-3838

E-mail：kuro-shakyo@festa.ocn.ne.jp

HP：https://kuro-shakyo.sakura.ne.jp/